

民間委託の視点・考え方について関係資料

- 提供サービス別の利用状況等 P 2
- 民間事業者の裁量の範囲について P 3
- 民間事業者に期待すべき創意工夫のポイント P 1 5
- 収支の現状と分析 P 1 6
- 収支についての考え方の方向性 P 2 9
- 指定管理者制度導入により企業に運営を委託している
博物館等の委託期間 P 3 0
- 指定管理者制度による受託年度別の運営方針の例 . . . P 3 1
- 官民競争入札実施要項又は民間競争入札実施要項に
関する指針（抄） P 3 2
- 委託期間の考え方 P 3 3
- 関係機関等のバックアップについて P 3 4
- 評価の考え方について P 3 5

提供サービス別の利用状況等

| 主な事業 | 主な提供サービス | 各事業サービス 利用者数 (18年度) | 満足度調査結果 (18年度) |
|-----------|--|---------------------------------------|-------------------|
| 職業体験事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・職業体験（40職種） ・ワークショップ（常設でない職業体験） | 231千人 | 94% |
| 展示事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・展示 ・企画展・イベント (例：手作り乾電池教室、ロボット解体ライブ) | 56千人 (展示体験事業 －職業体験 －ワークショップ) | 83% (展示・体験事業) |
| ライブラリィ事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・ジョブジョブワールドの視聴サービスの提供 (約700職種の個別職業情報を提供) ・ビデオ情報 (仕事や職業に関する約300の映像資料を提供) | 62千人 | 80% |
| 相談・援助事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア・コンサルティング (職業適性に基づいた職業選択等の相談及び情報提供) ・職業適性診断システム (職業興味の種類や方向性等の診断) | 122千人 | 77% |
| 研修・セミナー事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修・セミナー (例：自分にあった職業の選び方 、学校長のためのキャリア教育講座) | 34千人 | 93% |

※満足度調査結果の数字は、各事業を利用して参考になったと回答した割合

民間事業者の裁量の範囲について

従来しごと館は、①職業体験事業のほか、②展示事業、③ライブラリィ事業、④相談・援助事業、⑤研修・セミナー事業をワンストップサービス（別添参考参照）として提供してきたが、包括的民間委託にあたり、サービスの内容をどうすべきか。

（政策的視点）

- ① キャリア教育施策上、ワンストップサービスを維持すべきことを条件とするか。

又は、仕事に対する興味や関心を持たせ、気づきや意識付けを図るというしごと館の中核的な事業であり、実際に利用者数が最も多い職業体験事業の実施のみを条件とし、その他は民間事業者の裁量に委ねることとするか。

- ② 主として中学生・高校生を対象とし、学校等におけるキャリア教育とあいまって、早期の段階から若年者の職業意識形成を支援する事業を実施する観点から、以下の点をどのように考えるか。

イ 提供するサービスの内容が、中・高生の発達段階に応じた効果的なものとなっているか。

ロ 提供するサービスの内容が、将来の職業選択や学部・学科選択に資するものとなっているか。

ハ 職業体験職種の設定に当たっては、近年の労働市場の動向を捉えたものになっているか。

(収支改善の視点)

- ① 民間事業者の創意工夫により収支改善を図るという観点からは、民間事業者の裁量の範囲を広くすべきか。

その場合でも、職業体験事業は必須とすべきか。

- ② 収支改善のためには、企業からの収入確保の工夫をしても良いか。

(総合判断)

上記のような政策的視点と収支改善の視点とをどのように考えるべきか。
例えば、民間事業者の裁量の範囲は広くするが、提供するサービスの内容について、一定のガイドラインや参考例等を示すことが考えられるか。

＜ワンストップサービスの趣旨＞

○「職業体験」のみならず、暮らしを支える多種多様な職業各々にどのような人々の働きがあるかを学ぶ「展示学習」、約700職種の個別職業情報を映像(動画)で提供する「ジョブジョブワールド」、職業興味の程度や方向性等を診断する「職業適性診断」、職業適性に基づいた職業選択等の相談及び情報を提供する「キャリア・コンサルティング」を組み合わせることで、一過性の体験で終わらせず、職業意識の形成により効果的

(学校の利用例)

| 13:00 | 13:30 | 14:00 | 14:30 | 15:00 | 15:30 | 16:00 | 16:30 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------------------|-------|
| 到着 | 展示学習 | | 移動 | 職業体験 | | ジョブジョブワールド 職業適性診断 キャリア・コンサルティング | 退館 |

＜学校団体による各事業別の利用率(平成18年度)＞

| | 学校団体 利用校 | 職業体験 | | ジョブジョブワールド (ライブラリ事業) | | 職業適性診断 システム (相談援助事業) | | キャリア・ コンサルティング (相談援助事業) | |
|-----|-------------|------|-----|-------------------------|-----|----------------------------|-----|-------------------------------|-----|
| | | 人数 | 利用率 | 人数 | 利用率 | 人数 | 利用率 | 人数 | 利用率 |
| 中学校 | 771 | 723 | 94% | 266 | 35% | 437 | 57% | 100 | 13% |
| 高校 | 329 | 277 | 84% | 56 | 17% | 94 | 29% | 110 | 33% |

キャリア教育等推進プランー自分でつかもう自分の人生ー（抜粋）

平成19年5月29日

キャリア教育等推進会議

1 学校段階等における組織的で系統的なキャリア教育等の推進

〈課題認識〉

キャリア教育等については、学校現場において、キャリア教育等の必要性は理解されながらも現場での対応が区々である、特定の教員等の熱意によるところが大きく組織的な対応となっていない、高等学校普通科における取組の遅れ等学校段階等において取組度合いに差異があり、各学校段階間の接続が不十分である等の状況がうかがえる。

多種多様なキャリア教育等のメニューを各人の発達段階に応じて適時適切に提供していくためには、各学校段階間の接続及び学校教育と職業生活との接続をしやに入れた上で、組織的で系統的なキャリア教育等を行っていく必要がある。特に、高等学校普通科においては、上級学校への進学に係る指導に重点が置かれ過ぎている状況があり、キャリア教育等の推進に向け、特に取組の強化を図ることが必要である。

〈対応方針〉

(1) 小学校から大学（又は大学院）までの学校段階・発達段階に応じて、組織的で系統的なキャリア教育等の体系の構築を推進するとともに、キャリア教育等の意義・目標等を明確化する。

〈具体的施策〉

- ① 学習指導要領の改訂の検討（文部科学省）
- ② 単位認定等による教育上に位置付けられた取組やインターンシップの実施など、特に優れた取組の支援等を通じて、大学におけるキャリア教育の推進（文部科学省）

キャリア教育等推進プラン行動計画（抜粋）

平成19年5月29日策定
平成19年10月17日フォローアップ

| 対応方針 | 具体の取組(事業名) (斜体字は概算要求を参考表示) | 行動計画(斜体字は概算要求の参考表示及びフォローアップ) | | 平成19年度予算 | 平成20年度要求 | 担当府省 |
|---|---|--|--|-----------------|-----------------|-------|
| | | 平成19年度 | 平成20年度以降 | | | |
| 1 各学校段階等における組織的で系統的なキャリア教育等の推進 | | | | | | |
| (1) 小学校から大学(又は大学院)までの学校段階・発達段階に応じて、組織的で系統的なキャリア教育等の体系の構築を推進するとともに、キャリア教育等の意義・目標等を明確化する。 | 学習指導要領の改訂の検討 | 中央教育審議会において学習指導要領の見直し <i>中央教育審議会で審議中</i> | 学習指導要領の改訂後、改訂内容の解説と普及 | — | — | 文部科学省 |
| | 単位認定等による教育上に位置付けられた取組やインターンシップの実施など大学におけるキャリア教育を促進するとともに、特に優れた取組についての支援等を通じた大学におけるキャリア教育の推進 (インターンシップ実施状況調査) (現代的教育ニーズ取組支援プログラム H19年度) (質の高い大学教育推進プログラム(仮称) H20年度) | 大学における授業科目としてのインターンシップ実施状況の把握、公表 現代的教育ニーズ取組支援プログラムにおいて、大学における優れた取組を支援するとともに、優れた取組事例を広く社会に提供 | 引き続き実施 | — | — | 文部科学省 |
| | | | 質の高い大学教育推進プログラム(仮称)において、平成19年度までに現代的教育ニーズ取組支援プログラムの公募テーマ「実践的総合キャリア教育の推進」で選定された取組(63件)を継続的に支援 | 5,088百万円の内数(継続) | 4,656百万円の内数(継続) | 文部科学省 |